

広島県三原市

多分野連携に関する施設点検の高度化・効率化

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

現在、「群マネモデル地域」として、道路、河川、公園の日常維持管理を束ねる「多分野連携」に取り組んでいる。しかし、担い手不足は市職員のみならず、市内の事業者についても同様の課題である。そのため、多分野連携に関する施設点検の高度化・効率化を図り、安全・安心な地域のインフラの提供を目指している。

①解決したい課題

【ニーズ】

①道路巡回、施設点検の高度化・効率化

- ・道路巡回時に、路面のみならず道路附属物等の点検を同時に行いたい。
- ・上記の点検・診断・措置・記録の効率化を図りたい。

（特に取り組みたいこと）

- ・道路において、地中空洞化の早期発見を行い、道路陥没を予防したい。
- ・街路樹において、外観診断時に不可視部分の簡易診断（見える化）を行い、樹木の倒伏を予防したい。

②橋梁の社会的重要度の定量化

将来を見据え、管理すべき橋梁を見極めたい。

【三原市の人口・面積】

・人口：8.7万人

・面積：約471km²

【対象施設の規模等】

・道路延長：約1,290 km

・道路附属物：道路照明754基、標識293基、反射鏡4,431基

・樹木：中高木約6,600本（内、街路樹2,200本、公園4,400本）

・橋梁：1,035橋

【課題への取組状況】

・令和5年度から「群マネ」による多分野連携の検討を開始。

・令和8年度から多分野連携を実施予定。

【立地】



②課題解決の方向性等

【課題解決の制約や条件】

令和8年4月から多分野連携を開始予定である。そのため、令和7年12月頃には、解決策を形にする必要がある。（①のみ）

【課題解決策の方向性】

①道路巡回、施設点検の高度化・効率化

- ・診断結果について対象施設で検証を行い、コスト、点検精度等を含めた実現性を検討する。

②橋梁の社会的重要度の定量化

- ・市区町村をまたいだ広域化を踏まえ、交通ビッグデータ、人流データ等の活用による将来的に必要な対策（補修、集約等）を検討し、マネジメントする体制を構築する。

【シーズ提案に期待する事】

住民からの電話対応（道路損傷の通報等）を効率化するツールを別途検討している。このツールとシーズ提案との連携を図りたいと考えている。

【群マネの取組内容】

対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	多分野包括 (道路・河川・公園)	維持管理DX		橋梁点検		修繕工事
河川						
公園						
下水道						
その他	(駅前広場)					修繕工事

■ R8年度以降 多分野包括・維持管理DXの導入

③課題解決のイメージ・効果

【自治体】地域企業と点検情報等を共有することで、計画的な修繕工事が発注できる。

【地域企業】デジタル技術の活用により、地域企業の省人化が図れる。

【地域住民】安全・安心なインフラの利活用が可能となる。

その他

ニーズを2つ挙げていますが、いずれかであってもシーズ提案をいただきたい。